

# JAAC だより

## 求められるコミュニケーション能力とは？（後編①）

### － 「お互いに理解しあう」ことの大切さ、難しさ －

前号では、「初めて会う人に対して自ら話しかけることの大切さと難しさ」について、日本と欧米の文化の違いなどを交えながらお話をいたしました。今号では、相手の心をつかむコミュニケーション力として、その技法について皆さんと一緒に考えてまいりたいと思います。

まず、副題にも記しましたが、コミュニケーション本来の意味は「お互いに理會しあう」ことだと言えるでしょう。人間がコミュニケーションを図る際には、単に「ことば」だけを用いるのではなく、身振りや手振り、顔の表情や目の動きなどといった我々の体の一部を使って、相手にできるだけ正確に自分の意思や考えを伝えることをしています。私たちはそれぞれ帰属している文化圏のなかで、自然にその術を身につけていると言えます。体の一部を使って相手と意思の疎通を図ることと言えば、手話がその良い例となるでしょう。身体的な理由からことばを発することができない人たちは手話を用いて相手と理會し合っています。手話は、それを必要としていない人たちにとっては全く異なる言語と言ってもよいでしょう。

主にことばを使って相手に自分の意思を伝える場合、相手により理解を深めてもらうために私たちはことばを選びます。相手に対して、自分の喜怒哀楽の感情を伝える際には、どの程度の喜びや怒り、哀しみ、楽しさ（嬉しさ）の感情を伝えるかによって、その程度に合わせた語彙を選択しています。そして、その選択したことばをより相手の感情や心情に訴えるために、身振りや手振りを使ったり、語気に強弱をつけたり、時には鬼のような形相で身の回りのものを叩いたり、様々なジェスチャー（アクション）を感情に任せて加えています。また、このような語彙の選択や語気の強弱、ことばの抑揚などを意図的に行うこともしばしばです。このような手法を「修辭的（レトリック）」用法と言っています。例えば、第二次世界大戦前から当時のドイツでナチス党を結成し、第三帝国を築こうとしたアドルフ・ヒトラーは、巧みなことば使いと独特な語気の強弱、トーン、抑揚などを修辭的用法を活用し民衆の心を一心に集めたと言われていました。また、第35代目のアメリカ大統領となったジョン・F・ケネディは、就任演説の中で巧みな語彙とフレーズを用いて、「**And so, my fellow Americans: ask not what your country can do for you — ask what you can do for your country.**」（途中抜粋）と民衆に向けて訴えました。この演説はあまりにも有名なものです。文の和訳は皆さんご自身に調べてみてください。さらに、同年（1961年）にアメリカのマーチン・ルーサー・キング Jr. 牧師も「私には夢がある・・・」で始まる有名な演説を行いました。このように人々の心を打つ名言やフレーズ、文章などは、ことば（語句など）そのものが持つ意味を超越した次元のものとして知られています。いずれも、話し手の求心力のすごさを物語るものです。（次号に続く）（カリフォルニア事務局：照井）

【編集後記】政府の7.5兆円規模にのぼる為替介入により、10月21日に一時、史上最高値の1ドル75円78銭となった。このまま1ドル70円時代が来るのだろうか・・・？●11月1日に世界の人口が70億人を超えた。人間ってそんなにいる！？えらいこっちゃ！！■11月8日立冬を迎えた。えっ？？？もう、冬？今年もあとわずかだなあ◆11月15日。サッカー男子日本代表は北朝鮮のピョンヤンでアウェーの試合をした。1-0で負けた。残念ッ！！応援していたのになあ。圧倒的な現地のサポーターというか観客による、やや納得のいかない応援スタイルに翻弄されたようだ。▲小生は急なアメリカ出張で日本を留守にすることになりました。そのため、本誌の今号は紙面の都合もあり1枚組となりました。次号は今号の続きの記事を掲載し、盛りだくさんにしますので、よろしく願いいたします。（照井）

Let me remind you. . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

◆就職活動をする JAAC 生の皆さんへ： 海外大生を対象としたキャリア・フォーラムが東京（12月）で開催されます。詳しくは <http://www.careerforum.net/> をご参照ください。

その他、インターネット上では海外大学卒業生（見込み者）を対象としたジョブ・フェア等の情報が掲載されています。随時、各自で検索を行ってください。

●JAAC 本部署内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 [tokai@jaac.co.jp](mailto:tokai@jaac.co.jp) 担当：高瀬

JAAC 日米学術センター 鈴木：[t.suzuki@jaac.co.jp](mailto:t.suzuki@jaac.co.jp) ©カリフォルニア担当：照井 [k-terui@mtg.biglobe.ne.jp](mailto:k-terui@mtg.biglobe.ne.jp)

